
分譲マンションにおける防災対策調査

報告書

平成 26 年 3 月

目次

I	調査の概要	2
	1. 調査目的	2
	2. 調査内容	2
	3. 調査対象	2
	4. 調査方法	2
	5. 調査実施期間	2
	6. 回収状況	2
	7. 注意事項	2
II	アンケート調査結果	3
	1. 回答マンションの属性	4
	2. マンションの状況について	4
	3. マンション内のコミュニティについて	8
	4. マンションの防災対策について	10
	5. 防災訓練について	12
附	参考資料	17
	1. アンケート調査票	17
	2. アンケート調査結果集計表	21

I 調査の概要

1. 調査目的

静岡県内の分譲マンションにおける防災対策の実施状況を調査し、集合住宅居住者の地域防災活動への参加促進策を検討する際の基礎資料作成を目的とする。

2. 調査内容

- マンションの状況について
- マンション内のコミュニティについて
- マンションの防災対策について
- 防災訓練について

3. 調査対象

静岡県内のマンション管理組合 1,209 ヶ所

4. 調査方法

アンケート郵送調査により実施

5. 調査実施期間

平成 26 年 2 月 7 日～2 月 28 日

6. 有効回答件数・回収率

発送件数	到達件数	有効回答件数	有効回収率
1,209 件	1,129 件	283 件	25.1%

7. 注意事項

- 図表中の「n」(Number of case の略)は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数である。
- 図表中の構成比は、小数点第 2 位以下を四捨五入している。
- 複数回答の設問は、回答が 2 つ以上ありうるので、合計は 100%を超えることもある。
- 集計表の上段の数字は回答件数、下段の数字は構成比(%)である。

Ⅱ アンケート調査結果

1. 回答マンションの属性

(1)所在地

有効回答のあった283件の市区町村別の件数は、以下の通りである。静岡市が23.3% (66件)で最多、次いで浜松市が20.1% (57件)、熱海市15.9% (45件)、沼津市41件 (14.5%)と続いた。

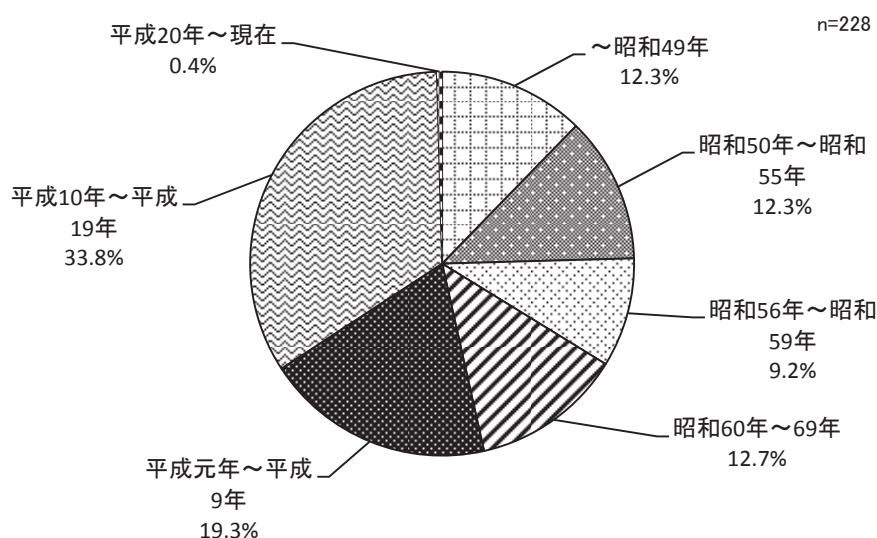
政令指定都市である静岡市、浜松市の回答分布についても下表を参照されたい。

市町名	件数	%	市名	区名	件数	%
静岡市	66	23.3	静岡市	葵	29	10.2
浜松市	57	20.1		清水	8	2.8
熱海市	45	15.9		駿河	29	10.2
沼津市	41	14.5	浜松市	東	3	1.1
三島市	13	4.6		西	2	0.7
富士市	12	4.2		南	2	0.7
伊東市	12	4.2		北	14	4.9
御殿場市	6	2.1		中	35	12.4
伊豆市	5	1.8		浜北	1	0.4
磐田市	4	1.4				
焼津市	2	0.7				
富士宮市	2	0.7				
伊豆の国市	2	0.7				
藤枝市	1	0.4				
長泉市	1	0.4				
下田市	1	0.4				
湖西市	1	0.4				
裾野市	1	0.4				
函南市	1	0.4				
東伊豆町	5	1.8				
駿東郡長泉町	2	0.7				
函南町	1	0.4				
河津町	1	0.4				
清水町	1	0.4				
計	283	100.0				

(2) 建築年

マンションの建築年別集計結果は次の通りである。なお、新耐震基準が昭和56年6月から適用となっているため、昭和50年代は、「昭和51年～昭和55年」と「昭和56年～昭和59年」の2区分とした。

「平成10年～平成19年」が33.8%（77件）で最多、次いで「平成元年～平成9年」が19.3%（44件）、「昭和60年～69年」が12.7%（29件）と続いた。平成以降建築のマンションが53.5%（122件）、昭和年代建築のマンションが46.5%（106件）と、平成以降建築の回答割合が、昭和年代建築をわずかに上回った。

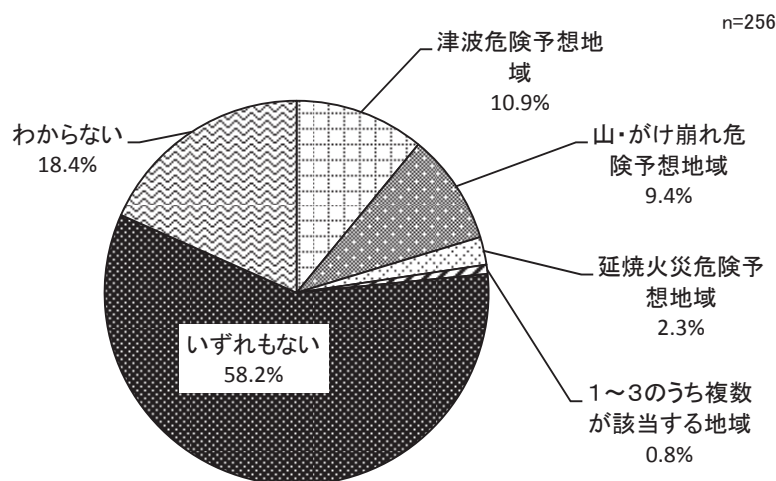


2. マンションの状況について

(1) 立地状況【問1】

問1 あなたのマンションは、以下の危険地域にありますか。[いずれか1つに○を]

立地状況については、「いずれもない」が58.2%（149件）で最多、次いで「わからない」が18.4%（47件）、「津波危険予想地域」10.9%（28件）、「山・がけ崩れ危険予想地域」9.4%（24件）と続いた。5割以上のマンションが『危険地域に立地していない』という結果となった。



(2) マンションの設備【問 2】

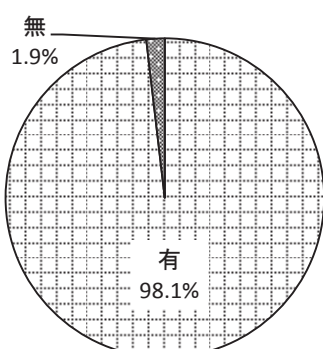
問 2 あなたのマンションの設備についてお伺いします。それぞれの項目について記入してください。

マンション設備については、消火器、火災報知器、受水槽、非常照明、エレベーター、バルコニー、非常階段、熱源において「有」が「無」を大きく上回った。消火器、火災報知器、バルコニーは「有」が9割以上を占め、特に高い結果となった。

一方、スプリンクラー、非常放送設備、非常用発電機、非常電話、AEDは、「無」が「有」を大きく上回り、防火水槽も「無」が59.7%（145件）となって「有」の40.3%（98件）を上回ったが、大きな差はみられなかった。

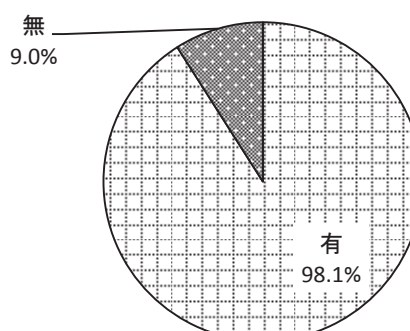
消火器

n=267



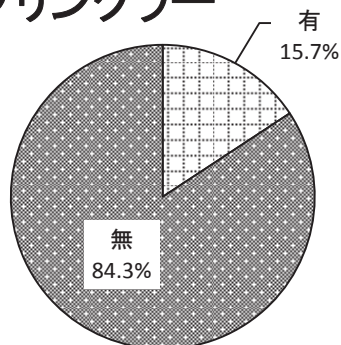
火災報知器

n=266



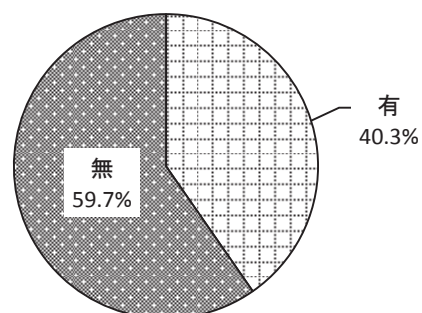
スプリンクラー

n=254



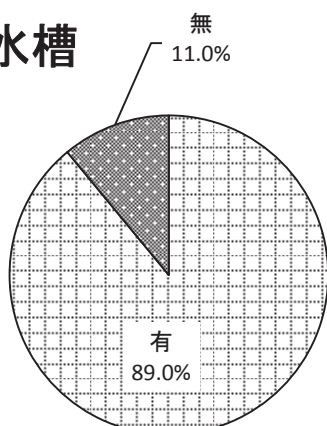
防火水槽

n=243



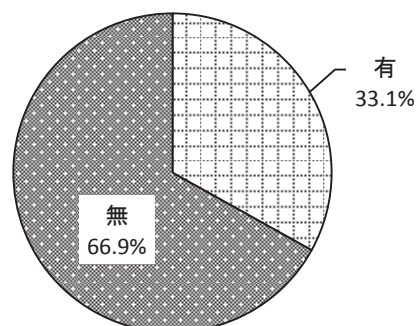
受水槽

n=264



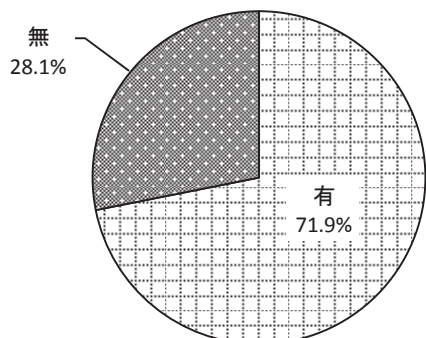
非常放送設備

n=263



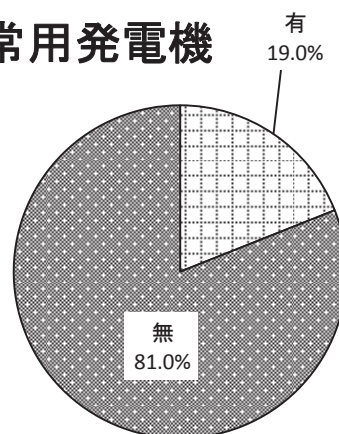
非常照明

n=256



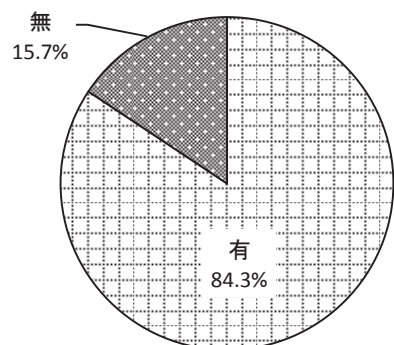
非常用発電機

n=253



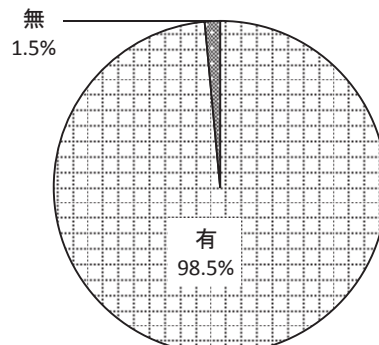
エレベーター

n=268



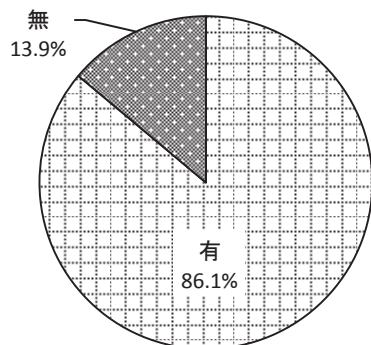
バルコニー

n=268



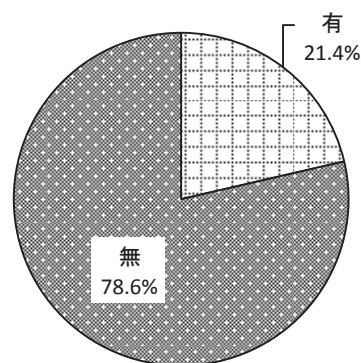
非常階段

n=266



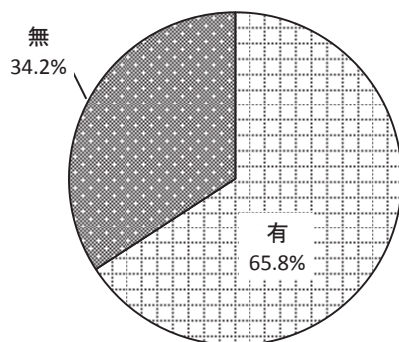
非常電話

n=248



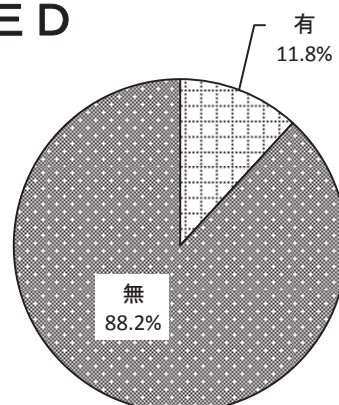
熱源

n=243



AED

n=262

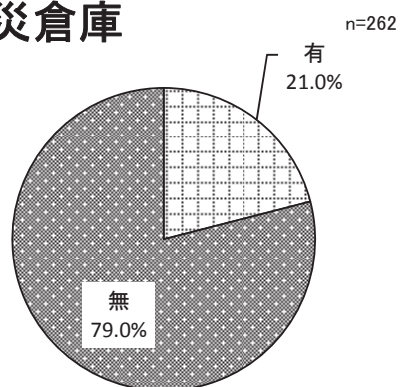


(3) マンションで保有している防災資機材【問 3】

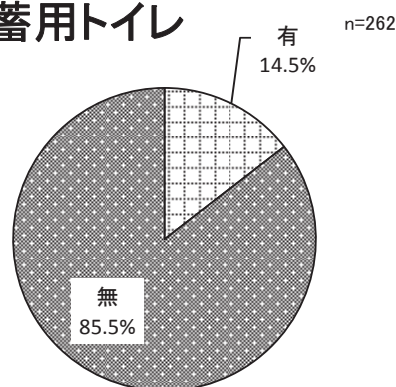
問 3 マンションで保有している防災資機材についてお伺いします。それぞれの項目について記入してください。
※個人備蓄は除く。

マンションで保有している防災資機材については、いずれも「無」が「有」を大きく上回り、特に可搬型ポンプは9割以上を占め、他の防災資機材よりも保有していない割合が高い。

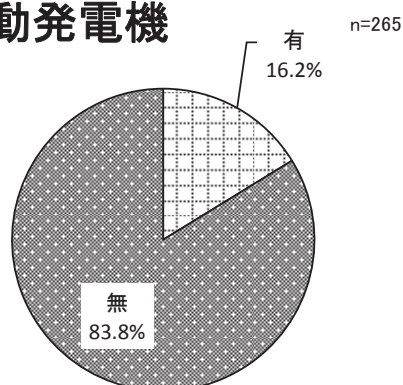
防災倉庫



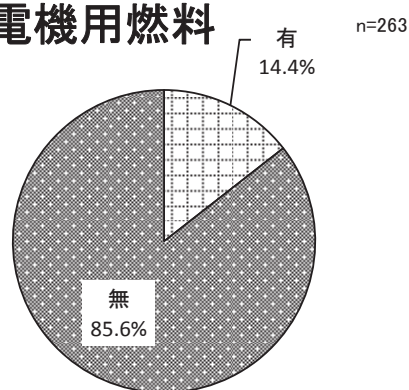
備蓄用トイレ



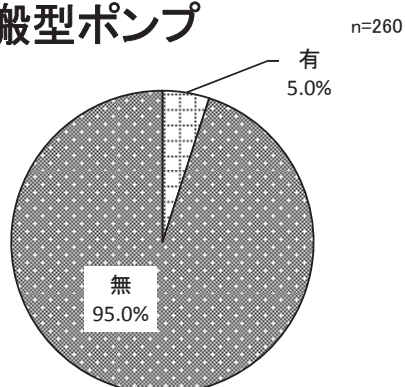
発動発電機



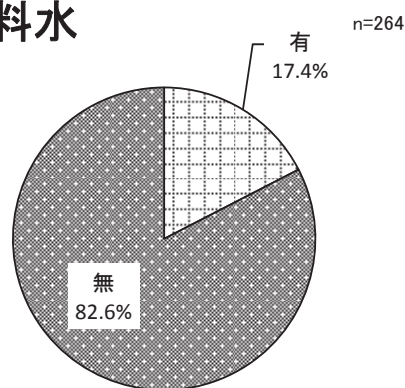
発電機用燃料



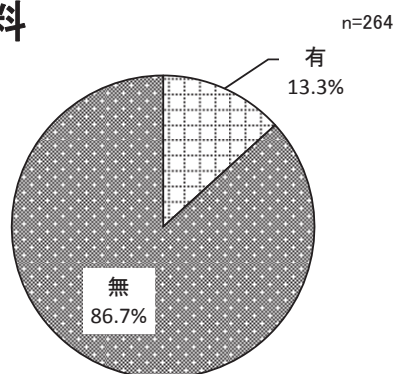
可搬型ポンプ



飲料水



食料

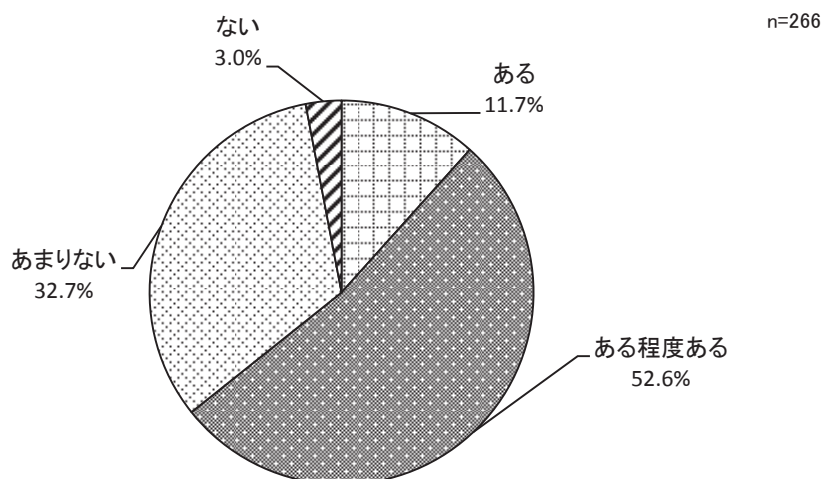


3. マンション内のコミュニティについて

(1) 居住者どうしの付き合い【問 4】

問 4 あなたのマンションでは、普段から居住者どうしの付き合いがありますか。[いずれか 1 つに○を]

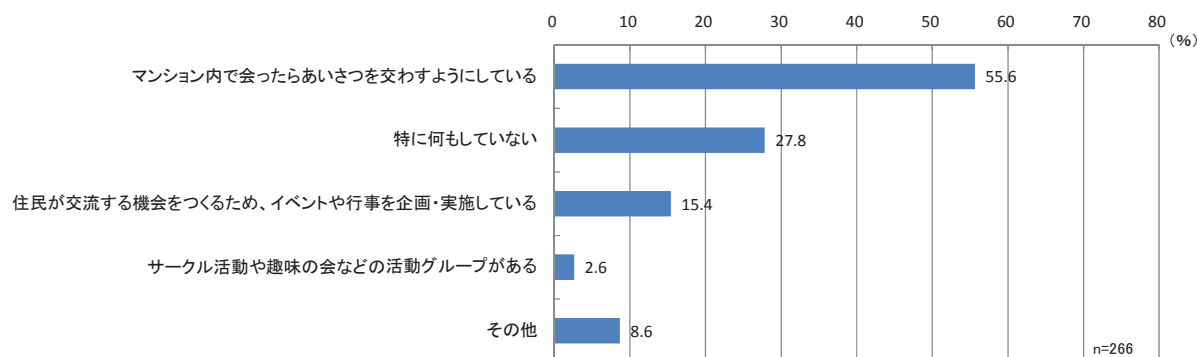
マンションでの居住者どうしの付き合いについては、「ある程度ある」が 52.6% (140 件) で最多、次いで「あまりない」が 32.7% (87 件)、「ある」が 11.7% (31 件) と続き、「ない」は 3.0% (8 件) にとどまった。



(2) コミュニティづくりのために実践していること【問 5】

問 5 あなたのマンションでは、コミュニティづくりのために何かしていますか。[いずれか 1 つに○を]

マンションでのコミュニティづくりについては、「マンション内で会ったらあいさつを交わすようにしている」が 55.6% (148 件) で最多、次いで「特に何もしていない」が 27.8% (74 件)、「住民が交流する機会をつくるため、イベントや行事を企画・実施している」が 15.4% (41 件) と続いた。



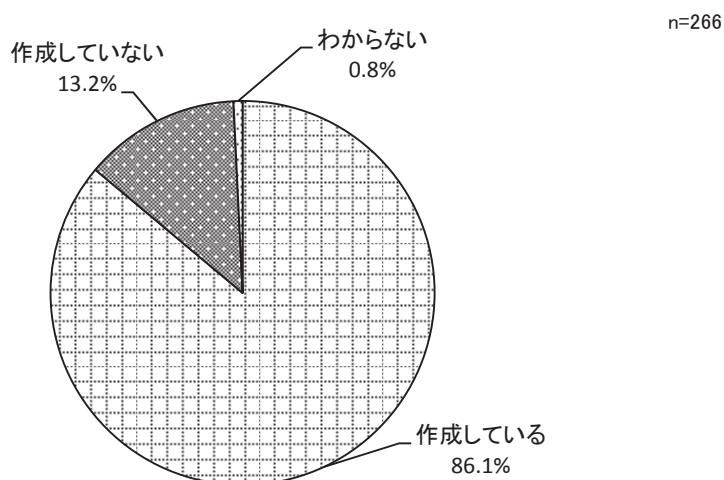
《その他》 (一部抜粋)

- ・全体清掃 (12件)
清掃のペースは、月1回 (9件)、年2回 (1件)、年1回 (1件)、回数記載なし (1件)
- ・定期的な理事会開催 (2件)
- ・自治会開催および参加 (2件)
- ・積極的に町内会に参加している (1件)

(3) 居住者名簿について【問6】

問6 あなたのマンションでは、居住者名簿を作成していますか。[いずれか1つに○を]

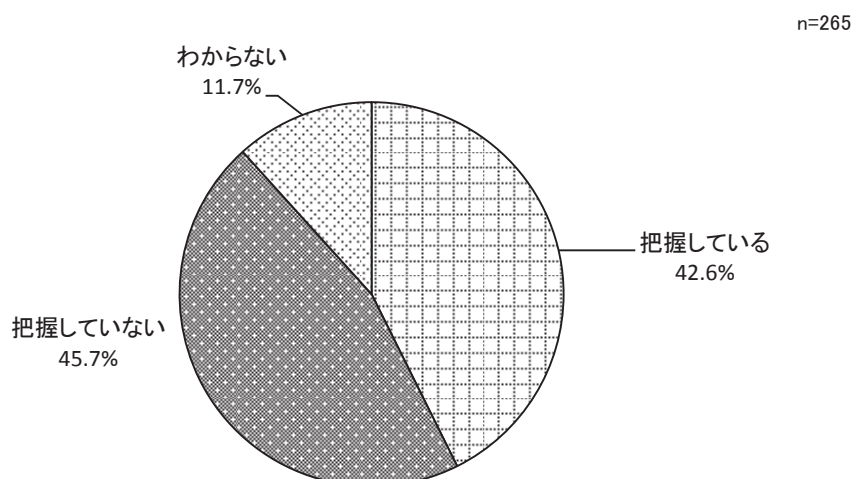
居住者名簿の作成状況については、「作成している」が86.1% (229件) と8割以上を占めた。「作成していない」は13.2% (35件) であった。



(4) 災害時要援護者の把握【問6】

問7 あなたのマンションでは、災害時要援護者を把握していますか。[いずれか1つに○を]

災害時要援護者の把握については、「把握していない」が45.7% (121件) で、「把握している」(42.6%、113件) をわずかに上回った。

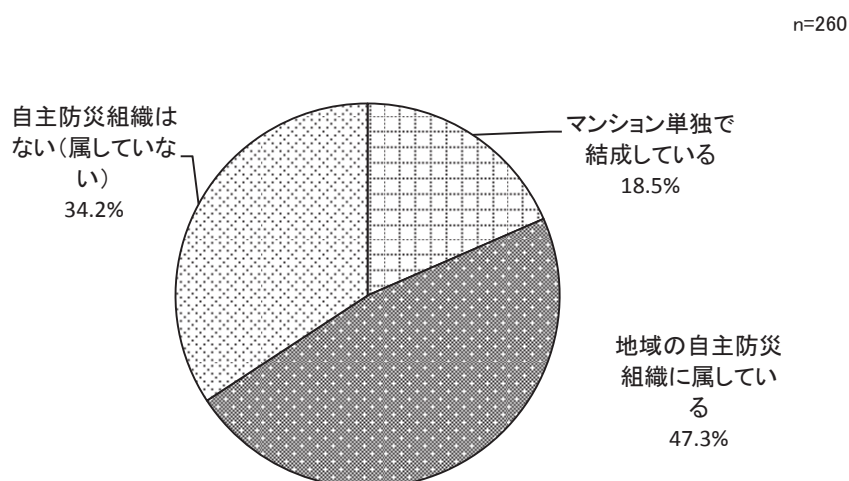


4. マンションの防災対策について

(1) 自主防災組織について【問 8】

問 8 あなたのマンションでは、マンション居住者だけで自主防災組織を結成していますか。それとも、地域の自主防災組織に属していますか。[いずれか1つに○を]

自主防災組織については、「地域の自主防災組織に属している」が47.3%（123件）で最多、次いで「自主防災組織はない（属していない）」が34.2%（89件）で続き、「マンション単独で結成している」は18.5%（48件）にとどまった。



(2) 自主防災組織の役員の任期について【問 9(1)】

問 9(1) 問 8 で、「1 マンション単独で組織」と回答した方にお伺いします。自主防災組織の役員の任期は何年ですか。任期の定めがない場合、現在の役員で最も長い経験年数は何年ですか。

問 8 で「マンション単独で組織」と回答した 48 件のうち、役員の任期は、「1年」が 58.3%（28 件）で最多、次いで「2年」が 27.1%（13 件）が続いた。「役員の定めがない」マンションは 6 件で、最も長い経験年数は「1年」「2年」「3年」「5年」が各 1 件、「10年」が 2 件であった。

任期

	回答件数 計	1年	2年	3年	定めがない
全体	48	28	13	1	6
	100.0	58.3	27.1	2.1	12.5

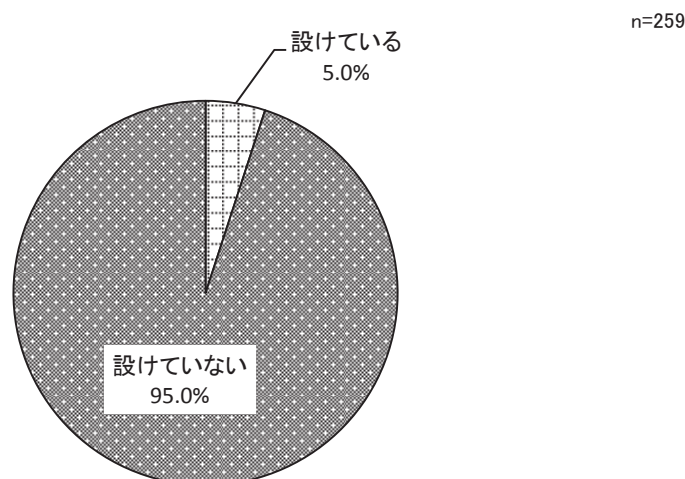
経験年数

	回答件数 計	1年	2年	3年	5年	10年
全体	6	1	1	1	1	2
	100.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3

(3) 災害対策本部の設置基準の有無【問 9(2)】

問 9(2) あなたのマンションでは、災害対策本部の設置基準を設けていますか。

災害対策本部の設置基準の有無については、「設けていない」が 95.0% (246 件)、「設けている」が 5.0% (13 件) となった。



(3) 設置基準の具体的内容【問 9(3)】

問 9(3) <(2)で「設けている」と回答した方に対し>その基準はどのようなものですか。(具体的に記入)

(2) で設置基準を「設けている」と回答した 13 件の、設置基準の具体的な内容は以下の通りであった。

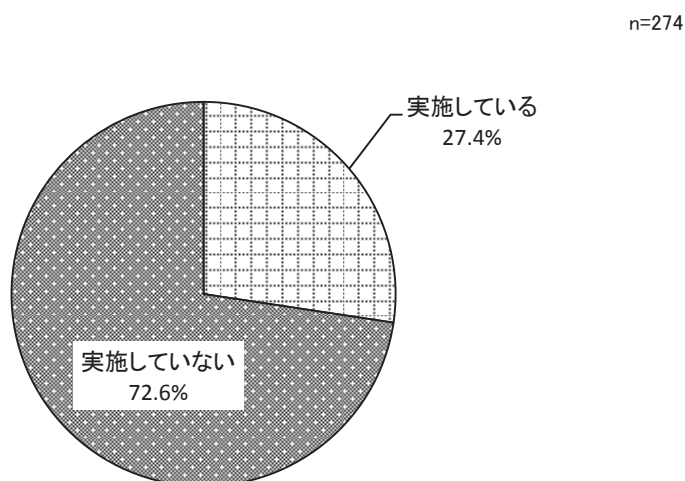
- ・マンション内のサイレン鳴動時より。
- ・非常食を 169 戸に対して 1 週間分備蓄して有る。
- ・役割分担。
- ・建物全体の防災計画で定めている。地震又は火災発生時に対策本部設置。
- ・火災、地震に備えて災害時の分担を決めている。消防署に提出済み。
- ・震度 5 以上の地震が発生した時。
- ・災害時、集会室に設置。
- ・第一番は当マンション前庭に設置する。第二番は当地域避難場所である富戸小学校に設置する。
- ・発災時に指揮本部を設置し、自衛消防隊を指揮する。(注意情報、警戒宣言発令時及び地震発生時も同様)
- ・県の南海地震発生警報時、または震度 5 弱以上の地震発生時に対策本部を立ち上げる。本部長は区長。本部は 1 階の共有室に設置。
- ・災害発生時災害対策本部設置：本部長は理事長。本部の執行は理事長以外の理事 3 名、町内会組長。
災害時の組織：情報班は町内会の組長。安全班は建設委員会、物資班、救済班で組織する。具体的な業務内容は検討中。
- ・大規模地震対策特別措置法に基づく警戒宣言が発せられた時。
- ・自主防災会規約に設けている。

5. 防災訓練について

(1) 防災訓練の実施の有無【問 10】

問 10 あなたのマンションでは、マンションの居住者だけで防災訓練を実施していますか。【どちらか 1 つに○を】

防災訓練については、「実施していない」が 72.6%（199 件）を占め、「実施している」は 27.4%（75 件）にとどまった。



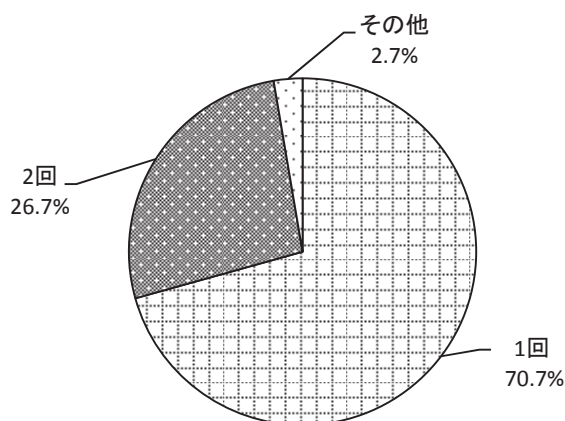
(2) 防災訓練の年間実施回数、延べ参加者数【問 11】

問 11 問 10 で「1 実施している」と回答した方にお伺いします。年に何回実施していますか。また、参加者数は延べ何人ですか。

問 10 で防災訓練を「実施している」と回答した 75 件のうち、年間の実施回数については「1 回」が 70.7%（53 件）、「2 回」が 26.7%（20 件）であった。また、延べ参加者数については「11～20 人」が 26.8%（19 件）で最多、次いで「21～30 人」が 22.5%（16 件）、「31～50 人」が 19.7%（14 件）、「101 人以上」が 12.7%（9 件）と続いた。

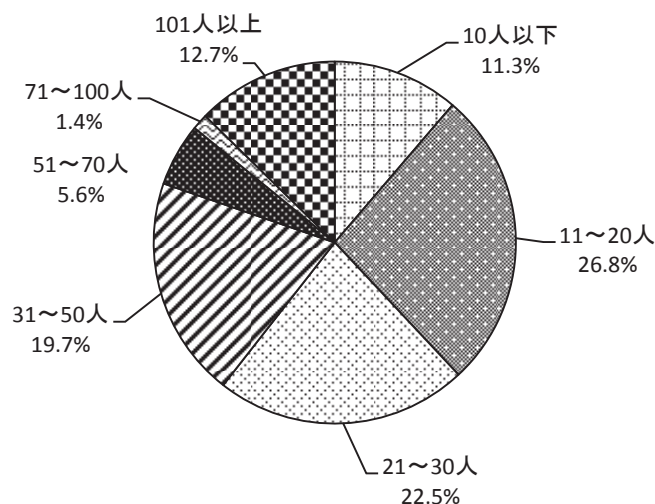
年間実施回数

n=75



延べ参加者数

n=71

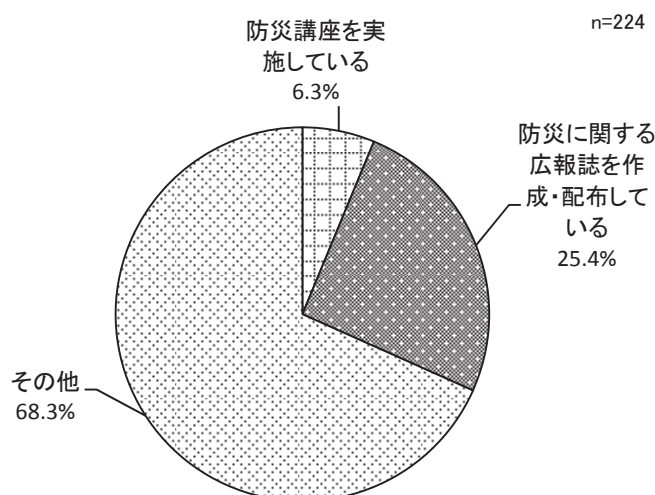


(3) 居住者が防災について学ぶ機会【問 12】

問 12 あなたのマンションでは、居住者が防災対策について学ぶ機会がありますか。

居住者が防災について学ぶ機会については、「防災に関する広報誌を作成・配布している」が 25.4% (57 件)、「防災講座を開催している」6.3% (14 件)、「その他」68.3% (153 件) となった。

「その他」153 件のうち、「特になし」とする回答が 38 件、具体的な回答が得られたのは 115 件で、内訳は「自治会、町内会の資料や講座」が 30 件で最多、次いで「市など行政からの広報」が 19 件、「防災訓練時の説明」が 18 件、「マンションで自主的に行っているもの」は 15 件であった。



<①:具体的な回答の内訳>

その他の内訳	件数
自治会、町内会の資料や講座	30
市など行政からの広報	19
防災訓練時の説明	18
マンションで自主的に行っているもの	15
その他	7
管理会社が主催するセミナーなど	4
個人の意識に任せている	4
計	97

<②:具体的な回答なし>

その他の内訳	件数
特になし	38
①+②	135

《その他:マンションで自主的に行っているもの》 (一部抜粋)

- ・防災図書をロビーに設置。
- ・報知器の点検の際に避難訓練と消火器の取り扱い練習を実施。
- ・総会の時に、震災対応マニュアルの話をしている。
- ・年に1度、災害対策関連ビデオで学習している。
- ・防災の日には、意識の喚起と実行動として、消火器の使い方、簡易トイレの使い方、消火用ポンプの使い方等の訓練を実施している。
- ・2~3ヶ月に1回マンション広報を発行。記事として防災も取り上げる。
- ・半年に一度炊き出し訓練を行っている。
- ・防災ガイドを配布 (マンション独自で作成)。

(4) 防災対策についての課題【問 13】

問 13 あなたのマンションで、防災対策について課題となっている事項は何ですか。以下に自由にお書きください。

防災対策についての課題 (自由回答) については、「リゾートマンションであるために防災対策が難しい」との回答が多くみられた。そのほか「訓練の参加者が少ない、関心が低い」「住民のコミュニケーションが希薄」など、日頃の人間関係の薄さに起因する課題が目立った。また、「高齢者が多いため避難が不安」との回答も多くみられた。

それ以外の課題としては、「飲料水・食料品など防災用品の確保」「建物の設備」「行政との連携」に関する課題も一定数見受けられた。

《課題(自由回答)まとめ》

【リゾートマンションであるため防災対策が難しい】

- ・リゾートマンションという性質上、コミュニティ組織なし。(同他 12 件)
- ・リゾートマンションのため常住している住民は全体の 5 分の 1 程度のため、いろいろの組織が結成されていない。災害が発生した場合非常に心配である。(同他 8 件)
- ・リゾートマンションであるため、被災当日の居住数等が未定。
- ・リゾートマンションなので防災対策については特に具体的な対策はしていない。
- ・リゾートマンションなので、対応が非常に難しい。室数 95 に対して約 30 世帯ぐらい居住しているが、高齢者が多いために、なかなか運営が難しい。
- ・リゾートマンションのため、定住者が少なく自治防災組織を作れない。町の消防等に防災の話を聞きたいが、組織マニュアル等がないと実行できない。リゾートでも災害時に備える必要があると考える。自治防災組織の無い集合住宅でも消防等の防災サポートが受けられるようお願いしたい。

【訓練の参加者が少ない、関心が低い】

- ・市、町内会の防災訓練にできるだけ参加するように呼びかけてはいるが、参加者は少なく、決まった人だけになってしまう。(同他 6 件)
- ・当マンションでは 2011 年 8 月に地震防災対策(地震対応マニュアル)を作成し全戸に配布している。内容は、人命安全(水の確保、避難場所の地図など)、環境保全(家族安全確認及び地域環境支援)、関連区への対応(生活インフラの確認として電気、ガス、水道、エレベーターなどに関する報告)、万が一の為に用意しておいた方が良いもの、その他(消火器の設置場所マップなど)となっているが、これらの防災地震対策が入居者に浸透しているか否かは多少不安がある。
- ・居住人の防災意識とリーダー的存在。マンション独自の防災本部の設置。
- ・当ビルは室数 65 のワンルームマンションタイプの雑居ビルです。居住者は 17~18 世帯で他は事務所系の利用となっています。昨今は外国人の方も増え、いろいろな面でも対応に苦慮しています。特に中国人はビル使用規則を守らない方が多く困っています。従って防災面においても一昨年初めて訓練を致しましたが参加者が少なく(居住者の参加はほとんどなく)、各自の防災に対するレベルアップ(意識改革)が必要と思います。
- ・昼間に災害が発生した場合の避難・誘導・連絡体制の構築、防災に対する関心が低い居住者への対応。
- ・防災訓練の参加者をふやす。組合の予算の中で防災設備をできるだけ充実していく。
- ・組合活動ができない(理事のなり手がいない)。防災訓練も雑用を手伝える住人がいない。管理人 1 人で形だけやっている。生活保護世帯が多く、火の始末に不安な人間が多い(火のついたタバコを平気で捨てたりする)。
- ・居住者が少なく協同での作業他等一般的行事もできない状況。
- ・防災訓練は、マンション住人の協力が得られず半数ぐらいの参加で行っています。今後どういった内容を行えば興味を示してもらえるか悩みます。アンケートを取っても居住者数すら確認できない状況です。来年度から防災管理者の業務を決め、自主防災会より少し強い立場で住人の協力要請をと考えていますが、どういう形が有効か悩みます。他のマンションで取り組んでいる事などがあつたら情報が欲しいです。
- ・マンション及び地域の防災訓練への参加者が少ない。災害時、高齢者や 1 人暮らしの方に対して誰がどの様に対応していくのか、また、災害発生時の時間・曜日によっては人手が不足することが考えられるが、それらに対する対応が不透明な部分があると思う。
- ・マンションとして支援態勢が必要と思っているが、プライバシーを楯に協力したくない空気がある。
- ・全戸 16 戸。時に空室発生(26 年 2 月時点で 2 戸)。防災についての話し合い、地域防災訓練などへの参加は一切なし。
- ・防災管理者がいないこと。
- ・自主防災組織がない。
- ・災害時における避難、誘導、人員確認、役割分担、及び避難場所での協力体制。
- ・防災マニュアルの作成。

- ・マンション内に組織されている①管理組合理事会②町内会自治会の役割分担が課題である。マンションには区分所有者と賃貸者がおり、区分所有者は①と②に所属、賃貸者は②に所属している。建物等のハード面は①が責任を持ち、訓練や自治体との提携等のソフト面は②が責任を持つが、より一層の役割分担の明確化と協力的体制作りが課題である。

【住民のコミュニケーションが希薄】

- ・住民の交流があまりないので、いざという時の対応が心配である。(他同5件)
- ・今後管理組合で防災グッズなど購入を検討しています。管理組合の理事長のやる気度によって変化するので私個人として関わられる住民とのコミュニケーションを深くとり、地域との交流なども深めていきたいと考えています。
- ・購入者、賃貸者住戸が潜在にあり、細部の掌握にやや問題がある。居住者名簿の作成においても反対意見あり。また、小さな組単位であり、他の組と合併整理してくれるようお願いしても、区で検討してくれる余地もない。
- ・オーナーさん同志はまとまっているような気がしますが、賃貸の方の入居者が増えているので、なかなか大変です。(各自の防災意識は高いと思います)
- ・自治会(町内会)との兼ね合い。自治会の参加者が少ないため、マンションで防災訓練を検討し、費用を自治会から捻出するよう依頼したが断られ、防災訓練を断念した。町内会と揉めることはしたくないので静観中。
- ・マンションを利用される機会が極端に少なく、オーナー(居住者)に直接会って防災対策等の話ができない。
- ・自主防災組織任務分担表は毎年の役員が会長以下決めているが、実際の活動打ち合わせ会議等が行われておらず形式だけのようで問題である。
- ・県下市町村に組織が構成され、市町村からの連絡、物品の支給等はこの中で行われるとの事だが、当マンションは建設時も森の中に集合別荘として造られており、市民としての意識を持たない所有者(全て都内周辺)でした。現在は8割方が住民登録はしておりますが、当地域組への加入者は数戸と少なく、現在増加へ向けた動きを始めたところである。

【高齢者が多いため避難が不安】

- ・住民の高齢化が進み体の不自由な方、一人住まいの方々を含む防災対策に苦慮している。(他同11件)
- ・居住者の大半は高齢者であって、町内会の行事や防災訓練に参加する者がいない。居住者相互のコミュニティを計画しても参加がなく、防災に対しても関心が低い。(他同1件)
- ・高齢者マンションのため、(平均年齢81才)管理組合の中に各階防災委員という形で防災組織を作っているが、実質的には機能していない。夜間体制が当直マネージャー1人(緊急対応の為のナース1名も館内にいる)であるため、不安材料となっている。
- ・当マンションでは、管理組合の総会後に防火管理者3名を中心に毎年訓練のテーマを決め主に火災震災での避難訓練を行っている。高齢者も増え体の不自由な人もいるので、各階毎に役を決め実施している。
- ・海辺に建立している9階マンションであり、屋上に避難するか、徒歩で15~20分かけて山の手へ避難するか、平均年齢70歳以上であり、判断をしかねている。築45年であり耐震診断、耐震工事を望むが費用が捻出できない。
- ・住人の高齢化に伴う緊急事態(地震、火災等)の際の避難救助方法をマニュアル化し実務訓練を計画する。(1)1~6階までエレベーターはあるが使用不可の際は救急具として救助用のハンモックを購入した。今後実際の訓練を行うことを計画している。(2)昨年末までに業者に依頼し防煙、火災報知器関係全ての点検と施設の改善を実施した。(3)現在、富士山噴火時の対策を進めており、突発時には白尾山(標高240m)に登るよう文書で周知してある。今後も具体的に進捗させます。
- ・高齢者マンションのため、特に夜間の対応が心配。発電機的能力不足(建物の規模に対して性能が低い)。2月の大雪で体験したが、道路状況によっては陸の孤島になってしまう。周辺住民が避難して来た場合、対応方法が未確立。

【飲料水・食料品など防災用品の確保】

- ・飲料水、食料の備蓄が必要。(他同7件)
- ・防災用品の充実。(AEDの設置等)(他同1件)
- ・水の確保。(ポンプ、発電機等)
- ・備蓄品を用意するための置き場所の確保、予算の確保。(他同1件)

【建物の設備】

- ・非常用発電機の設置。(現在検討中)
- ・マンホール利用のトイレ及び水槽を利用しない水道管の増設工事。

- ・エレベーターの閉じ込め対策。(停電時動作バッテリーが無い)
- ・外階段の手すりが無い為、目下市に申請中。(市より避難ビルに指定されている)
- ・可搬型ポンプが故障しやすい。
- ・棟の老朽化。
- ・狩野川流域下水道西部処理区の下処理施設が海拔 4m の場所にあり東南海地震では壊滅的な損害を受ける事が分かっているため、マンホールトイレを導入しても使えないと言われている。その結果、下手をすると本来簡易浄化して飲料に供せるはずの川への汚染物投機が行われるのではないかと非常に危惧している。途中の海拔が高いところに簡易処理施設を作るなどして、上述のような本末転倒の事態にならないよう、早急に事態を改善していただきたい。
- ・火災受信機等設備盤が古く耐用年数も超えている為、現在更新の手続きを図っている。
- ・点検日に留守宅については非常用具等のチェックができない。EV、非常時(地震)最寄りのフロアに自動停止ができない。
- ・2層式の機械式駐車場が地下1階にあるため水害時に車を避難させる必要がある。

【行政との連携】

- ・災害時要援護者等のフォロー。(同他2件)
- ・行政(市役所)との連絡。建物被害が少ないと想定し、市指定の避難所には行かない方針である。自主避難した場合の行政との連絡、情報提供、食料・水などの提供を受けられるのか不安である。
- ・1階～3階は市役所及び公民館として使用しているため、夜間は住民のみとなる。また、市職員は災害時などでは市の対応となるためマンションとしては手薄となる。
- ・当マンションは、市の津波避難ビルの指定を受け、協定を結ぶ予定です。区と連携を取り、最上階の避難場所について区に説明をしています。今後マンション自主防災会を結成し、最上階に防災倉庫を設置し、水・食料・トイレの備蓄をする予定です。また、最上階へ向かう外階段に手すりを設置します。自主防災会を結成する時に役割分担を決め、独居世帯を含めた避難計画の策定を行う予定です。
- ・津波緊急避難協力所に指定されていますが、地区との申し合わせ事項がなく、何名の方が避難されてくるのかが不明です。災害時要援護者の人数も不明であり、食料の備蓄等もありません。
- ・当地区には10m以上の建物が当マンション以外にありません。周囲が湖に囲まれているため大津波が発生した時には近隣の居住者が避難して来る可能性が考えられますが、当マンションは昭和49年3月に建築され旧建築法に基づく建築物であり、耐震強度が不明のため避難場所としての適否判断ができない。また、近隣に避難塔の設置予定もありません。公費にて診断をお願いしたい。
- ・町内の建物は、3階迄の建物しか建てられず、当マンションは10階建である為、津波発生時には避難所に指定されている。町からの要請もあったが、ただその場凌ぎの避難先と言う事で役場当局からの具体的対策などが皆無である。
- ・平成23年より当マンションに市の避難ビルの要請があり、マンションとして防災に対しての統一されたものがなかったことから、災害対策を効果的に進めるために災害対策委員会を設け取り決めに積々検討している。まだ進行中であり他の集合住宅の内容も参考にしたい。

附 参考資料

1. アンケート調査票

分譲マンションにおける防災対策についてのアンケート

◆ ご記入にあたってのお願い ◆

- ※ 回答は、貴マンションにおける防災対策について回答できる方にご記入をお願いします。
- ※ 本調査は、分譲マンションにおける防災対策の取組について把握し、全ての県民が、予想される東海地震や風水害時に対応できるよう、その対策を検討するための基礎資料といたします。
- ※ 本調査は実態を把握するための調査ですので、正確にお答えを記入してください。
- ※ ご記入いただいた調査票は、恐れ入りますが、三つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、2月24日（月）までにご投函ください。
- ※ 不明な点は下記までお問い合わせください。

静岡県地域防災活動推進委員会事務局（県危機管理部危機情報課 ゆい 油井）
 電話 054-221-3366 FAX 054-221-3252
 メール boujou@pref.shizuoka.lg.jp

マンション名	_____		
所在地	_____ 市・町 _____	〔 政令市の場合 _____ 区 〕	
居住世帯数	_____ 世帯	建築階数	_____ 階
		※複数棟の場合一番高い建物の階数	
建築年	_____ 年建築 _____		

差し支えなければ、下記に、このアンケートを記入された方の氏名、連絡先をご記入ください。後日、記載事項についてお問合せするかもしれませんので、その際にはご協力をよろしくお願いいたします。

なお、このアンケートに記載された個人情報は、静岡県地域防災活動推進委員会の活動以外に使用いたしません。

記入者の氏名	_____
連絡先電話番号	_____

<マンションの状況について>

問1 あなたのマンションは、以下の危険地域にありますか。【いずれか1つに○を】

1 津波危険予想地域	2 山・がけ崩れ危険予想地域
3 延焼火災危険予想地域	4 1～3のうち複数該当する地域
5 いずれもない	6 わからない

問2 あなたのマンションの設備についてお伺いします。

それぞれの項目について記入してください。

設備名	有無	整備状況等（わかる範囲でご記入をお願いします。）
消火器	有・無	
火災報知機	有・無	
スプリンクラー	有・無	
防火水槽	有・無	貯水量： トン
受水槽	有・無	貯水量： トン
非常放送設備	有・無	
非常照明	有・無	
非常用発電機	有・無	稼働時間： 時間 燃料（容量）： 対応設備：照明、エレベーター、エントランス扉開閉、その他（ ）
エレベーター	有・無	一般用： 機、非常用： 機 地震時対応の有無：有・無 耐震クラス：
バルコニー	有・無	
非常階段	有・無	
非常電話	有・無	
熱源	有・無	電気、ガス、その他（ ）
AED	有・無	個

問3 マンションで保有している防災資機材についてお伺いします。

それぞれの項目について記入してください。※個人備蓄は除く。

品名	有無	内 容
防災倉庫	有・無	棟
備蓄用トイレ	有・無	マンホール対応型： 基、簡易トイレ： 基
発動発電機	有・無	機
発電機用燃料	有・無	
可搬型ポンプ	有・無	機
飲料水	有・無	リットル/世帯
食料	有・無	備蓄量

その他	保有している資機材・数量を具体的に記入してください。
-----	----------------------------

<マンション内のコミュニティについて>

問4 あなたのマンションでは、普段から居住者どうしの付き合いがありますか。
[いずれか1つに○を]

1 ある	2 ある程度ある
3 あまりない	4 ない

問5 あなたのマンションでは、コミュニティづくりのために何かしていますか。
[いずれか1つに○を]

1 住民が交流する機会をつくるため、イベントや行事を企画・実施している
2 サークル活動や趣味の会などの活動グループがある
3 マンション内で会ったらあいさつを交わすようにしている
4 その他（ ）
5 特に何もしていない

問6 あなたのマンションでは、居住者名簿を作成していますか。[いずれか1つに○を]

1 作成している	2 作成していない	3 わからない
----------	-----------	---------

問7 あなたのマンションでは、災害時要援護者[※]を把握していますか。[いずれか1つに○を]

1 把握している	2 把握していない	3 わからない
----------	-----------	---------

※災害時要援護者とは、災害時に情報の入手や避難行動、避難所での生活が困難で、何らかの支援を必要としている方々をいいます。一般的に高齢者、障害者、外国人、乳幼児、妊婦等があげられます。

<マンションの防災対策について>

問8 あなたのマンションでは、マンション居住者だけで自主防災組織を結成していますか。それとも、地域の自主防災組織に属していますか。[いずれか1つに○を]

1 マンション単独で結成している	2 地域の自主防災組織に属している
3 自主防災組織はない（属していない）	

▶ 問9 問8で、「1 マンション単独で組織」と回答した方にお伺いします。

(1) 自主防災組織の役員の任期は何年ですか。

任期の定めがない場合、現在の役員で最も長い経験年数は何年ですか

任期 年

経年数 年

(2) あなたのマンションでは、災害対策本部の設置基準を設けていますか。
【どちらか1つに〇を】

1 設けている

2 設けていない

→(3) その基準はどのようなものですか。

具体的に記入

<防災訓練について>

問 10 あなたのマンションでは、マンションの居住者だけで防災訓練を実施していますか。
【どちらか1つに〇を】

1 実施している

2 実施していない

→ 問 11 問 10 で、「1 実施している」と回答した方にお伺いします。

(1) 年に何回実施していますか。また、参加者は述べ何人ですか。

年間実施回数： 回

参加者数： 延べ 人

問 12 あなたのマンションでは、居住者が防災について学ぶ機会がありますか。
【いずれか1つに〇を】

1 防災講座を開催している

2 防災に関する広報紙を作成・配布している

3 その他 ()

問 13 あなたのマンションで、防災対策について課題となっている事項は何ですか。
以下に自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

誠に恐縮ですが、2月24日(月)までに返信用封筒に入れて投函をお願いいたします。

2. アンケート調査結果集計表

■ 建築年

	回答件数 計	～昭和49年	昭和50年～昭和55年	昭和56年～昭和59年	昭和60年～69年	平成元年～平成9年	平成10年～平成19年	平成20年～現在
全体	228	28	28	21	29	44	77	1
	100.0	12.3	12.3	9.2	12.7	19.3	33.8	0.4

問1 あなたのマンションは、以下の危険地域にありますか。[いずれか1つに○を]

	回答件数 計	津波危険予想地域	山・がけ崩れ危険予想地域	延焼火災危険予想地域	1～3のうち複数該当する地域	いずれもない	わからない
全体	256	28	24	6	2	149	47
	100.0	10.9	9.4	2.3	0.8	58.2	18.4

問2 あなたのマンション設備についてお伺いします。

	回答件数 計	有	無
消火器	267	262	5
	100.0	98.1	1.9
火災報知器	266	242	24
	100.0	91.0	9.0
スプリンクラー	254	40	214
	100.0	15.7	84.3
防火水槽	243	98	145
	100.0	40.3	59.7
受水槽	264	235	29
	100.0	89.0	11.0
非常放送設備	263	87	176
	100.0	33.1	66.9
非常照明	256	184	72
	100.0	71.9	28.1
非常用発電機	253	48	205
	100.0	19.0	81.0

	回答件数 計	有	無
エレベーター	268	264	4
	100.0	98.5	1.5
バルコニー	266	229	37
	100.0	86.1	13.9
非常階段	248	53	195
	100.0	21.4	78.6
非常電話	243	160	83
	100.0	65.8	34.2
熱源	262	31	231
	100.0	11.8	88.2
AED	262	31	231
	100.0	98.1	1.9

問3 マンションで保有している防災資機材についてお伺いします。

	回答件数 計	有	無
防災倉庫	262	55	207
	100.0	21.0	79.0
備蓄用トイレ	262	38	224
	100.0	14.5	85.5
発動発電機	265	43	222
	100.0	16.2	83.8
発電機用燃料	263	38	225
	100.0	14.4	85.6
可搬型ポンプ	260	13	247
	100.0	5.0	95.0
飲料水	264	46	218
	100.0	17.4	82.6
食料	264	35	229
	100.0	13.3	86.7

問4 あなたのマンションでは、普段から居住者どうしの付き合いがありますか。[いずれか1つに○を]

	回答件数 計	ある	ある程度ある	あまりない	ない
全体	266 100.0	31 11.7	140 52.6	87 32.7	8 3.0

問5 あなたのマンションでは、コミュニティづくりのために何かしていますか。

	回答件数 計	住民が交流する機会をつくるため、イベントや行事を企画・実施している	サークル活動や趣味の会などの活動グループがある	マンション内で会ったらあいさつを交わすようにしている	その他	特に何もしていない
全体	266	41 15.4	7 2.6	148 55.6	23 8.6	74 27.8

問6 あなたのマンションでは、居住者名簿を作成していますか。[いずれか1つに○を]

	回答件数 計	作成している	作成していない	わからない
全体	266 100.0	229 86.1	35 13.2	2 0.8

問7 あなたのマンションでは、災害時要援護者を把握していますか。[いずれか1つに○を]

	回答件数 計	把握している	把握していない	わからない
全体	265 100.0	113 42.6	121 45.7	31 11.7

問8 あなたのマンションでは、マンション居住者だけで自主防災組織を結成していますか。それとも、地域の自主防災組織に所属していますか。[いずれか1つに○を]

	回答件数 計	マンション単独で結成している	地域の自主防災組織に属している	自主防災組織はない(属していない)
全体	260 100.0	48 18.5	123 47.3	89 34.2

問9(1) 問8で「1. マンション単独で結成している」と回答した方にお伺いします。

自主防災組織の役員の任期は何年ですか。任期の定めがない場合、現在の役員で最も長い経験年数は何年ですか。

■任期

	回答件数 計	1年	2年	3年	定めがない
全体	48 100.0	28 58.3	13 27.1	1 2.1	6 12.5

■経験年数

	回答件数 計	1年	2年	3年	5年	10年
全体	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3

問 9(2) あなたのマンションでは、災害対策本部の設置基準を設けていますか。[どちらか 1 つに○を]

	回答件数 計	設けている	設けていない
全体	259 100.0	13 5.0	246 95.0

問 10 あなたのマンションでは、災害対策本部の設置基準を設けていますか。[どちらか 1 つに○を]

	回答件数 計	実施している	実施していない
全体	274 100.0	75 27.4	199 72.6

問 11 問 10 で「1.実施している」と回答した方にお伺いします。

1 年に何回実施していますか。また、参加者は延べ何人ですか。

■年間実施回数

	回答件数 計	1回	2回	その他
全体	75 100.0	53 70.7	20 26.7	2 2.7

■延べ参加者数

	回答件数 計	10人以下	11～20人	21～30人	31～50人	51～70人	71～100人	101人以上
全体	71 100.0	8 11.3	19 26.8	16 22.5	14 19.7	4 5.6	1 1.4	9 12.7

問 12 あなたのマンションでは、居住者が防災について学ぶ機会がありますか。[いずれか 1 つに○を]

	回答件数 計	防災講座を実施している	防災に関する 広報誌を作成・ 配布している	その他
全体	224 100.0	14 6.3	57 25.4	153 68.3